

# 立命館經濟學

第二十三卷 第二号

昭和四十九年六月

---

## 内 容

### 論 説

- 現実資本と貨幣資本の現代的発現……………小 牧 聖 徳 1  
——社会的動向と主体的発現——
- アジア的生産様式の基本的構造について……………杉 野 罔 明 27

### 紹 介

- カール・B・ターナー『ソフトウェアにおける  
ケインズ批判の変遷』……………小 野 進 46

### 書 評

- 坂本和一著『現代巨大企業の生産過程』……………若 林 洋 夫 100
- 共同研究室…………… 113

立 命 館 大 学 經 済 学 会

立命館経済学 第二十二巻・第五・六号

故井上晴丸先生追悼の言葉……………関 弥三郎

論 説

現段階における農業危機……………上原信博

帝國主義論と「二つの道」論……………日南田静真

再生産論と地代論……………保志 恂

労働貴族論にかんする若干の覚書……………戸木田嘉久

戦後日本資本主義と

林業・山村問題の展開構造……………奥地 正

研 究

「虚偽の社会的価値」の理論的根拠……………内山 昭

翻 訳

西ドイツ農業における……………振津純雄

国家独占資本主義……………振津純雄

共同研究室

井上晴丸先生の人と業績……………建林正喜

晴丸さんの想い出……………大藪輝雄

井上晴丸先生の学問的業績……………大藪輝雄

井上晴丸教授略歴・主要著作目録

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十二巻・第一号

論 説

乗数理論の「うそ」と「まこと」……………建林正喜

現代巨大生産単位の生産方式……………坂本和一

——現代の大量生産方式について——

現代自主管理論と民主主義の諸

問題……………津島陽子

——バンカール民主主義論——

紹 介

L・G・レイノルズ『経済学の

三つの世界』……………小野 進

発行所 立命館大学経済学会